

第413回 長野放送番組審議会

1. 開催年月日 平成22年7月7日(水) 午前10:30より

2. 開催場所 長野放送会議室

3. 委員の出席

○委員総数 10名

○出席委員数 8名

○出席委員の氏名(敬称略・委員は五十音順)

委員長 清澤研道

副委員長 中村重一

委員 小出貞之

委員 塚田芳樹

委員 中西満義

委員 丸山仁也

委員 茂木通則

委員 若麻績信昭

○放送事業者側出席者名

相崎由松(代表取締役社長)

瀬木潔(代表取締役副社長)

関義仁(取締役編成・報道・制作・番組審議会担当)

松田敏和(編成局長)

飯嶋憲彦(編成局次長兼編成部長兼視聴者室長)

南直敏(制作局長)

岩村陽一(制作局ディレクター)

山口慶吾(番組審議会事務局長)

4. 議題

(1) NBS月曜スペシャル

「愛はソーテ・サワサワ」

5月31日(月)午後7:00~7:54放送

(2) 視聴者対応報告

5. 議事の概要

(1) 番組の審議

- ・主人公の小林フィディアさんが素晴らしい人物で、その明るさ、人を思いやる心、母国タンザニアの孤児に対する思い、また、彼女を支える周りの人々の思いが十分に伝わり、視聴者は温かい気持ちにさせられたのではないか。
- ・タンザニアの国民の「分け合う、助け合う」心が、古き良き日本の人間の繋がりに共通するものを感じさせてくれた。
- ・物質的に豊かになり心の豊かさを失っているように見える現在の日本人に対して、タンザニア出身のフィディアさんの生き方や考え方はたくましく、ある種の羨ましさと感動を覚えた。
- ・長い期間にわたる取材の中で、取材相手との信頼関係ができていることが、番組全体に厚みを持たせた。取材者のテーマへののめり込みが感じられた。
- ・フィディアさんがどういう経緯で日本にきたのか、夫はどのような人なのか、タンザニアの国の実情などについて説明が不足だった。
- ・内容が豊富だったが、それが番組で十分に消化できていない面があった。

(2) 視聴者対応報告

編成局より6月の視聴者対応について報告した。